

空き家対策ナビゲーター1期生実践編及び2期生養成オンライン講座 (NPO法人兵庫空き家相談センター)

課題	将来の空き家問題に備え、本法人と川西市とで空き家問題に対する連携協定を締結し、空き家問題をワンストップで解決できる体制を構築してきたが、急増するであろうオールドニュータウンの空き家問題に対して本法人及び行政ですべて解決することは不可能に近いと危惧している。
目的	急増するであろう空き家問題に対し、地域住民に空き家問題の教養をつけてもらい、ニュータウンの自治会単位で空き家問題の前裁きや空き家予防活動を担ってもらう事が今回の狙いである。空き家対策ナビゲーターが増加する事で効率的な空き家問題の解決ができる新たな取組である。
取組内容	空き家対策ナビゲーター2期生のオンライン養成講座の実施 空き家対策ナビゲーター1期生の実践活動のフォローアップ
成果	空き家対策ナビゲーター2期生の養成 空き家対策ナビゲーター1期生と自治会との連携構築 自治会でのセミナー、気軽な相談会(茶話会)の実施 セミナー、茶話会での参加者の傾向及び志向調査



取組詳細:

空き家問題の教養を身につけた地域住民(空き家対策ナビゲーター)が地元の自治会に入り込み、地元の空き家対策となる活動を行う。

取組効果:

自治会役員との信用・信頼構築が容易に進み、自治会から老人会をはじめ福祉部会、小学校コミュニティ等の団体を紹介され、より多くの住民にセミナー、茶話会の機会を得られた。地域住民が地元の自治会で活動するため持続可能な活動が見込め、空き家対策ナビゲーターはもちろん、自治会役員、その他住民に自助・共助の意識が高まり、行政頼りだった空き家問題の志向が変わりつつある。